

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・異常な猛暑でエアコンや冷蔵庫の売行きが非常に好調であり、またテレビ等のエコポイント関連でも好調な販売が続いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・猛暑が続いている状況で、飲料、アイスクリームなどが良く売れている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来店客数が前年比103%と好調である。また、3か月前と比較すると、売上は117%、客数は119%と好調な数字となっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・好天と猛暑により、昨年と違ってスタミナメニューが特に大きく伸びている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・今年は猛暑とはいえ、台風や雨天が少なく、更に春の新規投資物件が好調であることから、前年を大幅に上回る来客数となっている。
やや良く なっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・毎日暑い日が続いているので、エアコンの売上が増えている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の出店から2か月たち、ようやく客数が前年同期と同じ程度にまで回復している。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・猛暑の影響もあり、飲料、アイスクリーム、ビールなどの販売量が大きく伸びている。また旧盆商戦も好調で、期間中の売上は前年より6%ほど伸びている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・猛暑のおかげで、ソフトドリンクの販売量が多くなり、また、たばこの増税の関連で、客が早めにおくので、たばこの販売量も多くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前月比では120%と良いが、前年比で見ると100%と変わらない。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・エアコンの販売が前年比170%と好調である。またエコポイント絡みで薄型テレビが引き続き好調で前年比150%で推移している。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・今夏は大変暑く、それがかなり影響して、修理、販売共に需要が伸びている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・今年の夏の期間は前年に比べ、行楽客、観光客が増えている。週末の高速道路利用での旅行が増えたことが理由の一つとなって、ファミリー客が前年に比べ、大きく伸びている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・夏休みに突入し、ファミリー客や20、30代を中心としたヤング、アダルト層の来園者数が増加している。また、先月オープンした新規施設が好評であり、関連商品の売上も好調に推移しているため、消費単価についても前年を上回っている。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	来客数の動き	・単価については依然横ばいであるが、隣の再開発ビルに大手家電量販店が入ったところ、猛暑でエアコンの動きが非常に良いらしく、かなりの来客数がある。そのため、例年8月は落ち込むのだが、来客数が上向いているため、売上が伸びている。
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・猛暑のため単価の低い冷たい飲物は記録的な売上げたが、全体的に見ると売上増に結び付かない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・20年以上に渡り市民との交流があった大型店が客の減少で当期から撤退することになった。後を継ぐ店があると聞いているが、しばらくは人の動きが少なくなるので、当分の間は上がる見込みはない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑とエコポイント絡みで家電製品の動きは良い。ただし安価な商品が動くだけで、高額な物の動きは悪いので、労力の割に利益は薄い。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・暑すぎて、徒歩の年配客の減少が大幅に目立っている。また、通常は暑くなると肌着が売れるのであるが、今月はなぜか紳士、婦人共に肌着の売上が悪い。これは、暑すぎるため外で作業せずに家の中にいるため、下着の買換えが少ないものと思われる。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・7月は前年実績を上回り、8月は前半が入店マイナスになったものの、後半は前年実績を上回っている。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・猛暑の影響で非常に来客数が少ない状況であるが、決算セール、下取りセールや紳士部門でのお直しキャンペーンなど、より店に来てもらうための営業戦略が功を奏している。		

百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・回復基調にあった婦人、紳士服であるが、連日の猛暑により、晩夏、初秋商品の動きが鈍い。しかし、夏物のバーゲン品は好調であった。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・暑さもかなり厳しく夏物衣料が動くかと思われたが、夏物クリアランスも山場が作れないまま終息してしまい、肩すかしである。またこの残暑では、初秋物を早期に投入しても実売にはつながっていかない。暑さで好調な商品群もあれば、前年を下回る商品群もあり、全体では変わらない。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・客数、客単価とも以前ほどの落ち込みは無いが、依然昨年を上回らない状況である。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・今月は気温が高かったので衣料品関係は非常に良く、前年比110%くらいに伸びている。その反面、食品がかなり苦戦している。衣料品が良く、必需品関係と食品関係は思ったほど伸びていないので、店全体ではそれほど大きく変わらない。
スーパー（統括）	販売量の動き	・猛暑の影響で食品は前年比103.3%となり、飲料、氷菓、総菜類が好調であるが、ベーカリー等は減少している。衣料品は吸汗、即乾の素材の肌着が2.5倍、UVケアの傘、手袋は4倍と大きく伸び、衣料品全般でも既存店で前年比101.5%となっている。中元は、団塊世代の贈る件数が減少し、前年比99.2%である。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・7月から猛暑が続いているので、飲料やアイスクリームなどがかなり大幅に売れており、その結果売上も多少であるが、増加している。
コンビニ（店長）	単価の動き	・先月と同様、暑さが続いており、水物やアイスクリームなどの冷たいものは、とても動くようになって来客数も増えている。しかし、客単価では落ち込みが激しく、売上をなんとか保っている状態である。景気はあまり変わっていない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・前年比で来客数が約15%減少したが、客単価が上昇したため、売上は15%増加した。
衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・例年になく猛暑が続いており、商店街を歩いている人がほとんどいないため、来客数も大分少ない。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・猛暑日が続いていることも後押ししているだろうが、これまでの節約疲れの反動なのか、来客数が若干増えているような気がする。ただし、それが買物につながるかというところまでは言い切れない。また、単価が安いもので終わってしまう。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・猛暑のため冷蔵庫と季節品のエアコン、扇風機は好調な販売となっているが、商品が品枯れしてしまい、現状は入荷が困難なため、前年比でも販売数量は8月後半厳しい状況である。予期していなかった猛暑対策の出費で、地上デジタル放送関連の薄型テレビやレコーダーの伸びが鈍化している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・9月末のエコカー購入補助金終了に伴い、新車の駆け込み需要はあるが、市場全体及び中古車市場には全く活気が無い。
乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・輸入車の新車の一部にエコカー減税などのいろいろな減税処置が出てきたが、高額な輸入車の新車に関しては全く動かず、減免処置があってもさほど影響がない。3か月前と比べれば、車はぼつぼつと出ているものの、単価の安い車しか売れていない。
住関連専門店（開発業務責任者）	販売量の動き	・天候のおかげで夏物の動向は良いが、定価品の商品動向と客数は低迷している。
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・売上は前年をやや下回っており、回復の兆しが無いため変わらない。
観光型ホテル（営業担当）	競争相手の様子	・この夏の猛暑もあって、避暑目的の客で宿泊は概ね好調だが、地元宴会や食事利用は横ばいである。同地区や隣接する市町村の宿泊施設に聞くと、全体的に入込が良くなく、苦戦している様子である。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・相変わらず停滞しており回復状況になっていない。
旅行代理店（副支店長）	それ以外	・少しずつだが企業出張が出始めて来ているものの、景気自体に大きな変化は見られない。海外旅行への動きは微妙に出て来ていたが、国内旅行については猛暑のためか動きが鈍い。

	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・夏季の旅行者数は、地元の旅館関係では順調のようである。ただし、一方で高速道路料金引下げにより、当地区を飛び越えてしまう影響も大きく、上向きの動向は期待できない。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・前年同期比で2%の増収であったが、暑さの影響によるものであり、全体としては良くない。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・企業は一進一退を繰り返しており、相変わらず先行き不安を抱えているため、設備などは使えるうちは使うという節約ぶりで、新規の受注は少ない。
	通信会社（局長）	お客様の様子	・夏休みの時期につき、消費者が来店する販売経路に関してはやや好調であるが、他の販売経路では大きな変化はない。3か月前と比較し、全体的に景気回復の兆しは感じられず、むしろ今夏の気象環境下での商談における顧客の集中力は散漫になりがちであり、成約に苦労している。
	ゴルフ場（支配人）	それ以外	・残暑が長く続くため、水不足が発生している。また、高原地帯にある山岳コースであるため、来客数が減少し、午後のハーフプレーが増加している。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・14年ぶりにG1レースを行ったが、売上、来客数共に大幅に落ち込んでいる。
	その他サービス [清掃]（所長）	それ以外	・学校等と同様に夏休み期間中であり、職場でも夏季休暇が取得できるため、職員も家族旅行等で長期休暇を取得するが、高速道路料金の割引を利用するなど旅行費用を掛けないようである。
	その他サービス [フィットネス クラブ]（マネージャー）	単価の動き	・低単価の会員種類の入会しか取れない現状である。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・石油業界の低迷に影響を受けている。
	設計事務所（経営者）	それ以外	・先月と変わらず仕事量は増えず、新しい物件は少ない。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・当社では少し上向きになってきたのかと思っていたが、これまでになく悪くなってきているというクライアントが複数いる。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・建築の相談はもちろん、設計依頼の客が訪れることはほとんど無く、住宅展示場やハウスメーカーへの来客数はどうなっているのかと思う。営業の怠慢なのかかもしれないが、何をどうすれば良いのか分からない状況である。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・8月は、梅雨明けからの猛暑で、避暑を目的に別荘見学者が増加している。しかし、根底にある強い不況感によって、来客数の増加が成約率増加につながっていない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・自己居住用の住宅及びリフォームは堅調な受注状況を維持しており、アパート建設もエコポイントの効果が出てきているように感じられるが、土地の有効活用など収益型物件の受注は依然として非常に厳しい。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・以前は夏休みになると、子供連れでキャンプに行ったり、登山に行ったり、いろいろな競技大会があって、お盆でも結構品物が動き、客も来ていた。しかし、このごろはそういう大会もなく、スポーツ用品というのはお盆になると極端に悪くなる。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・2、8月のいわれがそのまま来ている毎日である。暑さも重なり、客が極端に少なく、買って単価の低い物ばかりである。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑のせいもあるのだろうか、街の人出は途絶えてしまい、売上に結び付かない。バーゲンも不振であり、秋物も動かず、良い材料が無い。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・このところ新聞の折り込みチラシで、買物するとサービスが付きます、といったサービス合戦が目立っている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー購入補助金が9月に終わる状況で、売れ筋の車が間に合わなくなってきており、販売量が減ってきている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・依然、不透明な経済状況で販売量の確保が厳しい現状である。

		住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・猛暑は7月の売上には良い影響を与えたが、8月に入るとマイナスの影響の方が大きく、特に8月10日以降の来客数の減少、売上の減少は顕著である。午前中、夕方はそこそこであるが、日中の来店客数は激減している。加えてペットフードなどの単価の下落傾向がさらに加速している。
		高級レストラン (店長)	販売量の動き	・月初めの予約が順調であったため、盆休みの集客に期待していたが、それほどでもなかった。休み明けは閑散とした状態が続いている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・猛暑の影響で来客数が減少している上、夏休み期間のため外出が多く、地元ではなくよそで食事をする人が多いのか、夜のファミリー客が減少している。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・町の中にまるで人がいないし、全くお金を使わない。生活防衛なのだろうが、加速度的に消費が落ち込んでいる。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・例年8月の第1土曜日には祭りがあるが、景気が悪いせいとか人の動きが鈍く、来客数が非常に少ない。市内も空き店舗が目立ってきているような状況で、今後どうなるのか、円高で不景気になっていくような感じを強く受ける。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・8月はお盆休み等の影響で例年売上が落ちるが、今月は不況、猛暑等の要因が付加し、販売量低迷に更なる拍車を掛けた。
		ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・来場者が昨年よりも減少している。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・猛暑の割には来客数が思ったより伸びない。7月よりも来客数が少ないと考えられる。8月全体としては例年と同じような数字である。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・世情が円高で先行きが不安定で、不景気感があり高額な商品については買い控えになっている。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・売上、来店客数は共に伸び悩んでいる。
	悪く なっている	一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・当地でも連日、暑さが続いており、一般の商品は売れていないが、天然氷等が売切れてどうしようもないという状況が続いている。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・暑くて商店街に人通りが全く無い。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・土日になると商店街に客がなくなり個店が店を閉めている。
		一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・他店の来客数の動きを見ても、夜の集客が非常に少なく、また、経営も大変厳しいという話をたくさん聞く。消費者である客の動きが大変鈍い。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・同業者もここにきて3、4軒閉めており、本当に景気が悪い。何が何だか、今のところよく分からない。
		住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・物件の引き合いや問い合わせ等は非常に少なく、デフレで地価が下がり、地方では800~1,000万円クラスの物件がやっと動く状況である。また、賃貸関係では、賃料が非常に安くなり、仲介料収入が大幅に減ってしまうため、業者は非常に苦戦をしている。
企業 動向 関連	良く なっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の環境装置であるスプレー缶、エアゾール缶、ガス缶処理機と兼用機などのライター処理機が自治体の調査と一緒に新聞記事やテレビで取り上げられ、また省庁の調査広報に載ったため、信頼が増している。
	やや良く なっている	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・夏の暑さも手伝って、製造分は確実に上げていく。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・8月は販売量が前よりは良くなっている。
		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・中国向けの建設機械用部品、工作機械用部品の仕事が好調であり、他社でこなせきれない仕事が当社へ回ってきている。また、自動車関連の仕事も、今のところ堅調に推移している。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車関連の仕事が現在ピークを迎えている。他の仕事はそうでもないが、国内向けの自動車関連の部品の注文が殺到している。売上は前年に比べれば良くなっている。
		その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は横ばいで、投資案件の規模は小さいが、上半期の締めでもあり、9月末に向け小規模改善投資が駆け込みで多くなっている。

変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏休み、お盆休みなどで営業日数も少ないが、引き合い、受注がばたりと止まっている。我々の周りの経済は停滞したままの感が非常に強い。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・言い様のないどん底の状態に変わりはない。
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・このところの急激な円高に見合うように、製品のコストダウンの要請が当然あるはずだが、今のところ来ていないので、非常に助かっている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円高のせいで、海外で作るものがどんどん増えている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・量は少ないが、安定した受注が続いている。ただし、1か月先等の長期的なものではなく、その時その時を継続的に埋めている状況が続いている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この数か月は良い状況が続いていたが、ここに来て受注量、販売量等が減少気味の傾向である。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今年の夏は天候に恵まれたため、お盆までの荷動きは、飲料水、レジャー用品や夏物家電等の動きが止まらずに、現在も前年を4割ほど上回っている状況である。しかしながら、デフレ状況は続いており、運賃コストの見直しにより運賃下落等もまた多く出ており、利益の確保が大変難しい状況である。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光地においては中国人を主とした外国人観光客を中心に客の増加が見られ、国内観光客においても例年になりに暑い夏となったこともあり、好調に推移している。ただ顧客単価についてはデフレの影響で低く推移している模様である。
	金融業（総務担当）	取引先の様子	・暑さが長引いているせいで、例年より光熱費が増加したり、従業員が体調を崩したりすることがあり、余裕を持って人員配置などを行ったため、人件費が増加している。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出稿量は89.6%となっており、昨年の衆議院選挙を除いても大きく下回っている。燃料屋ではガス、油類の売上が落ち、外出を控えている傾向がうかがえ、衣料問屋では、毎日洗える安価商品は売れるが、百貨店は厳しいと話している。猛暑の恩恵も限られた商品、限られた店のみとの見方もあり、くたくたとの嘆きが聞かれる。
経営コンサルタント	取引先の様子	・住宅関連は回復傾向にブレーキが掛かり、建設業、関連業種は依然として低調である。ただし、長い生存競争の中で生き残った在来企業の受注は堅調であり、また、先端技術でないが特有の技術を有した一部の金属製品製造業などはやや順調である。なお、資金繰りや経営改善の相談は変わらない。	
社会保険労務士	取引先の様子	・自動車、家電関連の部品製造関係の事業所は残業が増えて来ているが、その他は以前と同じままである。	
やや悪くなっている	食品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響で他の酒類に食われ、荷動きは低調である。
	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・急激な円高の進行により、生産の海外流出が加速化している。これに対応できない中小企業は脱落せざるを得ない。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の水準は、昨年、一昨年と比べても、130%ほどで非常に良くなっているが、3か月前と比べると伸び率が鈍化し始めている。また、円高傾向のなかで、先行きがどうなるのかは今月を起点に判断していくことになる。
	金融業（調査担当）	受注価格や販売価格の動き	・7月初めの企業ヒアリングでは、製造業の受注は7～9月までは持ち直しの動きが続くという予想であったが、足元では受注に鈍化の動きが見え始めている。生産財の出荷と在庫の動きを見ても出荷が前月比で減少し、在庫が増加している。景気の先行き動向指数も低下しており、踊り場局面に入りつつある。
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・受注額も含めて、仕事の依頼が増えているにもかかわらず、それに見合った対価、代金の支払いが絞られている。

		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・競合他社がここ3か月で2～3割もの営業社員を減らしていると聞いている。また、発行している媒体の出稿件数も、半分近く減っている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・前月ぐらいから落ち込んだままの状態が続いている。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量は減少する一方である。
		建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事主体の受注金額は、前年比99.1%と何とか確保できた。ただ、地方自治体への予算執行が例年より遅れているようで大変心配である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・取引企業より増員要請が多くなり、営業訪問ポイントが好調なため、やや良くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・7月の新規求人数は、前月に比べ10%以上増加し、前年同月比でも20%以上増加している。求人に関し、持ち直しの動きがあるものの、臨時、契約社員、派遣社員が増加し、正社員求人は同水準のままである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比25.8%の増加となった。新規求人倍率で見ると0.95倍となり、これは過去1年間で最も高い倍率である。また、新規求職者数は前年同月比4か月連続で減少傾向にあることから、景気回復の動きが広がりを見せ始めている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が3か月前と比べて22%ほど増加している。よって景気は徐々に回復基調にある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人関係では自動車、電機、電子といった部品製造関係の募集が目立っている
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今まで付き合いのある会社の仕事量がどこも少ないので、売上があまり上がらない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・例年、夏期は特にサービス業、小売業においてパートやアルバイトを求人広告で募る企業が多く見られるが、今期は求人広告数が少ない。全体に景気回復は鈍く、求人に対しても依然として厳しい。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は前月に比べて減少気味である。求人を見ると、派遣の求人と、一般の製造関係の求人が減少しており、特に正社員求人は全体でも減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・景気の悪化が雇用環境に大きく影響を及ぼした昨年同期と比較をすると、求人申込の数値は増加傾向にあるが、7月の求人倍率は0.63にとどまり、企業側の従業員募集、採用に対する姿勢は依然慎重で、今後の国内経済の動向に不安感を持っているようである。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・この時期、ここ数年に比べ就職試験等は活発に行われていたように感じるが、大手企業の動きは例年とほぼ変わらないと感じた。円高等経済的影響はやはり今年もある。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価低迷、円高でやや悪くなっている。
	悪くなっている			